

当院の脳神経疾患治療について



医療法人脳神経研究センター
新さっぽろ
脳神経外科病院
理事・副院長
中川俊祐

当院では1988年の開業以来、脳卒中、頭痛、認知症、頭部外傷、更にはパーキンソン病などの変性疾患と幅広く脳神経疾患の治療に携わって参りました。

また、ERセンターを設置し、救急診療により一層注力しております。脳神経の救急疾患の中でも、脳卒中診療は迅速かつ適切な治療が肝要となっています。脳卒中とは脳梗塞、脳出血、くも膜下出血を指します。中でも脳梗塞は最も発生頻度が高く、ここ10年程度で血栓回収術の登場もあり治療内容は大きく飛躍しています。

当院においても最新の器具・設備を充実させ、24時間対応できる準備を整えております。脳卒中診療に限らず、頭部外傷やめまいなど脳神経疾患が疑われる場合は随時お受けいたします。脳ドックも行っております。

日常生活において、ちょっとしたふらつきや手足の動かしにくさ、ろれつが回らない、手足が痺れるなど不安に感じられる場面が多々あるかと思えます。脳疾患に関するお悩みがありましたらいつでもご相談ください。わかりやすい説明を心掛け、誠心誠意対応させていただきます。